

1 単元 住みよいくらしをつくる

2 指導計画 (26 時間完了)

- (1) 暮らしの中の水とごみ、資源・・・1 時間
- (2) 水はどこから・・・・・・・・・・10 時間
- (3) ごみのしよりと利用・・・・・・・・10 時間
- (4) わたしの時間・・・・・・・・・・5 時間 (本時 5 / 5)

3 本時の指導

- (1) 目標
よりよい発電方法を考えることができるようにする。
- (2) 情報活用能力の育成について
どの発電方法がよいか自分の考えをもち、交流活動を通して自分の考えを広げ深めることができるようにする。
- (3) 準備 「メリット・デメリット記入カード」(各児童)「座標シート」(班ごと)
- (4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
8分	1 6つの発電方法を振り返る。 ・火力発電 ・原子力発電 ・風力発電 ・水力発電 ・太陽光発電 ・地熱発電	○ イメージしやすいように、それぞれの発電所の写真を提示する。
2分	2 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いちばんよい発電方法を考えよう。</div>	
25分 (8分)	3 それぞれの発電方法のよさを比べる。 (1) 発電方法のよさを比べるための観点を決める。 ・安全面 ・コスト面 ・環境面 ・効率面 など	○ 児童から出てきた観点の中から2つの観点を選び、座標シートの縦軸、横軸とすることを伝える。
(5分)	(2) 6つの発電方法が座標シートのどの辺りに位置すると思うか、座標シートに自分の考えをまとめる。	○ 各児童に小さい付箋紙を6枚ずつ配り、発電方法を書かせて貼らせることで、各児童の考えを視覚化する。
(12分)	(3) 6つの発電方法が座標シートのどの辺りに位置するか、班の中で話し合っ て、班の考えをまとめる。	○ どの発電方法について話し合っているのか分かりやすくなるように、各班に大きい付箋紙を6枚ずつ配り、発電方法を書かせて、それを貼らせる。貼る位置は、多数決や中間点ではなく、メンバー全員が納得できる位置に貼らせるようにする。
10分	4 各児童が、いちばんよい発電方法を1つ選び、その理由とともにワークシートに記述する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>どの発電方法がよいか自分の考えをもち、交流活動を通して自分の考えを広げ深めることができている。 【ワークシートの記述】</p> <p>□…それぞれの発電方法の長所、短所が、どれほど自分たちの生活に影響するのか想像させる。</p> <p>☆…今回選んだ2観点ではなく、残りの2観点を考えた場合、6つの発電方法は座標軸のどの辺りになるか考えさせる。</p> </div>	

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動